

活動テーマ

気づこう、学ぼう、やってみよう、私たちの逢坂から

大津市立逢坂小学校

環境グループを支える委員会

環境グループ

名称	大津市立逢坂小学校
構成人数	360人



名称	エコスクール支援委員会
構成人数	13人
主な構成メンバー	琵琶湖博物館学芸員、滋賀県環境学習センター、逢坂市民センター、大津市環境政策課、逢坂の川を愛する会、PTA、校長、教頭、環境教育主任 ほか

エコ・スクールの活動に重要な3つの視点の取組

子どもたちの主体的な取組

4年生では、地域を流れる吾妻川について詳しく調査し、発表会を開いたり、今後の吾妻川について話し合ったりしました。

5年生では、一人ひとりが課題を持ち、琵琶湖の現状について詳しく調べ、自分たちにできることを話し合いました。

今後の活動へのつながり

全学年で環境学習を行いました。今年度は、3年生の「身の回りのエコ」と6年生の「地球のためにできること」を新設しました。来年度は、今年度の実績をもとに、更なる内容の充実を図っていきたいと考えています。

地域との関わりについて

地域や諸団体の協力を得て、エコスクール支援委員会を年間2回開き、各学年や委員会の取組みの検討を行っています。

また、今年度は環境委員会が大津市の市民団体と共同で、タナゴの繁殖実験に取り組みました。

主な活動内容紹介

全ての学年で環境学習を実施しています。

- 1・2年生・・・花や作物の栽培、自然とふれあい季節を感じる学習
- 3年生・・・身の回りの身近なエコを探し、実践する学習
- 4年生・・・地域を流れる吾妻川について、詳しく調べる学習
- 5年生・・・一人ひとりが課題を持ち、琵琶湖について調べる学習
- 6年生・・・地球の環境問題について詳しく調べる学習

また、今年度は環境委員会が、大津市の市民団体「ぼてじゃこトラスト」と共同して、タナゴの繁殖実験に取り組みました。3学期に校内放送で発表し、琵琶湖の環境保全を全校に呼びかけました。

ビオトープにザリガニがたくさんいることがわかりました。(1年生)



子どもたちの声や感想など



学校で集めた牛乳パックや古紙のゆくえがわかりました。(3年生)



琵琶湖にはたくさんの外来魚がいて問題になっています。外来魚のせいにするのではなく、人間の起こした問題として考えていきたいと思っています。(5年生)

ビオトープでタナゴの繁殖実験を行いました。11月の調査では、11匹の稚魚が見つかりました。(環境委員会)



エコスクール支援委員会